

2016年度第9回理事会(定例)開催



第11回アジアユース女子選手権大会(U-18)優勝



第11回アジアユース男子選手権大会(U-19)優勝

2017年3月14日(火)に開催された2016年度第9回理事会(定例)の概要をお知らせします。

●功労者 I 表彰の決定について

功労者 I 表彰について以下の説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決しました。

1月10日に各加盟団体宛に功労者 I 表彰推薦を依頼したところ、(公財)東京都バレーボール協会より下記の1名が推薦された。2月28日に表彰委員会を開催し、審査を行った結果、表彰基準を十分満たしており、バレーボール界への貢献も非常に大きいことから、功労者 I 表彰候補者として理事会へ推薦することを決定した。本日の理事会で正式に承認をお願いしたい。

【功労者 I 表彰基準】

- ・全国的に組織されたバレーボール競技団体(加盟全国連盟)の役員又は本会委員会委員及び協力社等の立場からバレーボールの普及・発展に著しく功績のあった方 [当該関係暦 20 年以上]
- ・全国的・国際的規模の競技会レベルの指導者として競技人口の拡大または競技水準の向上に著しい功績のあった方 [当該関係暦 30 年以上]

【功労者 I 表彰推薦候補者】

高橋 治憲 [公益財団法人東京都バレーボール協会 会長]

【推薦理由】

高橋氏は、長期にわたり JVA の指導普及委員会の委員、副委員長として中学校指導者等の指導育成に従事し、特に難しいといわれている男子バレーボール部員の裾野拡大に尽力した。

また、理事、として協会の堅実な運営を図り、赤字状態にある協会の財政について監事としての適切な助言・指導を行い、2016 年度の財政の健全化に貢献された。更に、全日本ジュニア・ユースチームの団長として、アジア・世界選手権大会に参加したときには、遠征時のチームの統制・強化に留まらず、選手の健康管理にも尽くされ、幾度となく準優勝等の実績をあげている。この様なバレーボール界における輝かしい実績と貢献から高橋氏を功労者表彰 I に推薦する。

●コンプライアンス規程の改定について

コンプライアンス規程の改定について以下のとおり説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決しました。

前回開催の理事会にて、コンプライアンス規程の第 4 条(適用範囲)の適用対象者の中に「(3)JVA 加盟団体及び準加盟団体の役員、評議員及び事務局の職員」と記載されているが、第 21 条(懲戒処分)には対象者として「準加盟団体の役員」の記載漏れがある事について指摘があったため、下線部を追記することとした。

<コンプライアンス規程抜粋>

第 5 章 処罰

第 4 条(3)「JVA加盟団体及び準加盟団体<追記>の役員、評議員及び事務局の職員」については、所属する組織に対する事実内容の報告、その他必要に応じた処分

●ナショナルコーチへの推薦について

ナショナルコーチへの推薦について説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決しました。

ナショナルコーチ制度は、文部科学省が日本オリンピック委員会に委託している事業であり、ジュニア世代からトップレベルの競技者までの育成・強化を効果的に推進し、強化活動全体を統括する責任者をオリンピックでメダルの獲得が期待できる競技団体から推薦することができる制度である。本件の推薦にあたっては、理事会等の組織決定を経て推薦することが義務付けられており、本協会としては、ナショナルコーチに強化事業本部長の鳥羽賢二氏を推薦することといたしたい。

なお、アシスタントナショナルコーチには業務執行理事兼ビーチバレーボール事業本部副本部長の桐原勇人氏を推薦予定であるが、継続申請となるため、理事会承認は不要となる。

●特定費用準備資金の積立てについて

特定費用準備資金の積立てについて説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決しました。

(提案理由)

2020年の東京オリンピックを控え、本会としてやるべき課題は多い。将来の特定の活動の実施のために特別に支出する費用として、以下の特定費用準備資金及び特定資産取得資金(あわせて「特定費用準備資金等」という)を今後、総額で410百万円積み立てることを提案する。なお、2016年度に積み立てる金額は決算数値が確定後、速やかに理事会の承認を得ることとしたい。

【特定費用準備資金①】

- ・資金の名称:2020 インドア強化積立金
- ・将来の特定の活動の名称: 2020 東京オリンピック・インドア強化事業
- ・活動の内容:2020 東京オリンピックにむけてインドアをさらに特別強化する
- ・計画期間: 2017(平成 29)年度～2019(平成 31)年度の 3 年間
- ・活動の実施予定時期:2017～2019 年度
- ・積立限度額:180 百万円
- ・積立額の算定根拠:海外派遣費・旅費交通費 120 百万円、人件費 30 百万円、ソフトウェア・器具備品 30 百万円

【特定費用準備資金②】

- ・資金の名称:2020 ビーチ強化積立金
- ・将来の特定の活動の名称: 2020 東京オリンピック・ビーチ強化事業
- ・活動の内容:2020 東京オリンピックにむけてビーチを特別に強化する
- ・計画期間:2017(平成 29)年度～2019(平成 31)年度の 3 年間
- ・活動の実施予定時期:2017～2019 年度
- ・積立限度額:120 百万円
- ・積立額の算定根拠:男女海外合宿として 3 年間で 60 日相当
人件費 50 百万円、旅費交通費 70 百万円

【特定費用準備資金③】

- ・資金の名称:100 周年記念事業積立金
- ・将来の特定の活動の名称:JVA 創立 100 周年記念事業
- ・活動の内容:協会発足 100 周年を機会に一層の普及をめざす
- ・計画期間:2016(平成 28)年度～2025(平成 37)年度の 10 年間
- ・活動の実施予定時期:2027 年度
- ・積立限度額:50 百万円
- ・積立額の算定根拠:印刷製本費・委託費 50 百万円

【特定資産取得資金④】

- ・資金の名称:タラフレックス取得積立金
- ・対象資産の名称:タラフレックス
- ・目的:国際大会においての使用拡大
- ・計画期間:2018(平成 30)年度～2020(平成 32)年度の 3 年間
- ・資産の取得予定時期:2018～2020 年度
- ・資産取得に必要な額:60 百万円

・取得額の算定根拠: 10 百万円 × 6 台

●事業計画の一部変更について

事業計画の一部変更について説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決しました。

現在、会計区分の再整理に向けて、内閣府に申請手続きを行っているが、一部会計区分の移行がある。2017 年度の事業計画は 2016 年度第 7 回理事会(臨時)にて既に承認を受けているが、移行によって不要となる会計区分に該当する事業を、計画から削除したい。

P9. (6)地域グループ育成・強化事業 <削除>

本会の加盟団体である都道府県バレーボール協会及び全国的に組織されたバレーボール競技団体の育成、強化を目的に、団体運営ほか各種の支援を行う。

●報告事項

(1)内閣府へ認定申請変更の経過報告

内閣府へ認定申請変更の経過について報告されました。

2016 年 12 月 13 日に開催された 2016 年度第 7 回理事会(臨時)にて、事業区分を再整理することについて承認を受けたが、その後の経過としては、2 月 20 日に内閣府へ申請し、順調にいけば 3 月 31 日までには、答申が下りる予定である。

(2)パシオン渋谷売却について

パシオン渋谷の売却について、報告されました。

JVA が所有し、全日本大学連盟が約 30 年間、事務局として使用していたマンションを 2 月 20 日に売却したことが報告された。

なお、本物件は定款に規定する重要な財産の処分には該当しないことも併せて伝えられた。

【売却の理由】

- ・今後の維持費用が継続的に発生、また、耐震前の建物のため大きな費用の発生の可能性もある事
- ・テナント探しなどの今後のオーナーとしての事務量が継続的に発生する割には財政への貢献度が小さい事
- ・相場がこの数年上向いており売却には良いタイミングであった事
- ・大学連盟への貸与に該当する「その他」事業を来年度から廃止の申請をしている事

(3)事務局 6 階の増床と一部改修について

事務局 6 階の増床と一部改修について、報告されました。

会議室の不足、職員の増加等に対応したスペースを確保するため、現在事務局が所在しているダヴィンチ千駄ヶ谷ビル 5 階の大会議室を含む一部改修と、6 階の一部を増床する。

●6階 時期:2017 年 4 月 1 日より賃借

用途:大会議室 (約 22 坪)現在の大会議室の約 1.5 倍

利点:今後の理事会等、大会議をすべて JVA で行うことが出来る。

- 5階 現在の大会議室が無くなる為、レイアウトの一部変更を行う。

(4) 功労者Ⅱ表彰報告

功労者Ⅱ表彰について、以下の通り報告されました。

○第7期(2016年度)第4回功労者Ⅱ表彰者

倉地 修 (新潟県バレーボール協会 副会長)

寺田 美代子 (埼玉県バレーボール協会 参与)

長谷川 好信 (岐阜県バレーボール協会 参与)

山本 常雄 (静岡県バレーボール協会 会長指名理事)

鈴木 力正 (元(公財)東京都バレーボール協会 常務理事)

藤田 充男 (岐阜県バレーボール協会 参与)

内藤 繁次 (山梨県バレーボール協会 監事)

松下 光一 ((一財)広島県バレーボール協会 副会長)

山中 しづ枝 ((一財)広島県バレーボール協会 理事)

伊達 勉 (徳島県バレーボール協会 副会長 兼 理事長)

(5) 2016年度第4四半期職務執行報告

法令及び理事会運営規程に基づき、2016年度第4四半期の職務執行報告が、木村会長及び業務執行理事より行われました。主な報告内容は以下の通りです。

【木村会長、強化事業本部長、ビーチバレーボール事業本部長】

- ①春の高校バレー大会 挨拶及び代表者会議出席
- ②(公財)東京都バレーボール協会国体総合優勝祝賀会出席
- ③中期計画アクションAリーダー会議出席、プラン検討
- ④Vリーグ機構運営会議出席
- ⑤加盟団体代表委員総会出席
- ⑥感謝の夕べ 開催
- ⑦全国指導普及委員長・加盟連盟指導普及委員長会議・研修会出席
- ⑧男女強化委員会出席

【林業務執行理事 事務局長】

- ①コンプライアンス委員会出席
- ②各種イベント・セミナー、表彰式参加
- ③各協力社、関係先との折衝、関係団体との連携
- ④強化スタッフ契約交渉関連
- ⑤2050年構想、中期計画活動計画策定準備
- ⑥FIVB 主要5カ国会議(スイス)出席
- ⑦全国家庭婦人いそじ大会視察
- ⑧Vリーグ機構関連業務

【下山業務執行理事、国際・国内事業本部長】

- ①春の高校バレー代表者会議 出席、大会運営等
- ②9人制プロジェクト会議出席
- ③国民体育大会 打合せ
- ④中期計画アクションC 会議出席、プラン検討
- ⑤FIVB 審判規則委員会会議(スイス)出席
- ⑥コーチングバレーボール基礎編 作成
- ⑦コンプライアンス部会開催
- ⑧高崎市長(2017 ワールドグランプリ開催)敬訪問

【井原業務執行理事 業務推進室長、ビーチバレーボール事業本部副本部長】

- ①ビーチバレーボールコートの建設関連
- ②人事総研との打合せ(人事制度導入)
- ③ビーチバレーボール教本の制作に向けての打合せ
- ④内閣府及びスポーツ庁に事業区分についての内容説明
- ⑤ビーチバレーボール事業本部、企画・広報部会の打合せ
- ⑥コンプライアンス委員会出席
- ⑦ビーチバレーボール定例会議出席
- ⑧中期計画アクションB 会議 出席、プラン検討

【桐原業務執行理事 ビーチバレーボール事業本部副本部長】

- ①全国高等学校体育連盟常任委員会出席
- ②ビーチバレーボール強化関連業務(スタッフ面談、指導)
- ③JOC アスナビ交流会参加
- ④中期計画 アクションA 会議出席、
- ⑤AVC ビーチバレーボール委員会(タイ)出席
- ⑥U-21 女子日本代表選手のアジア選手権事前合宿の指導、視察
- ⑦アジアツアー準備委員会 開催
- ⑧国際大会(FIVB 女子 2Star、男子 4Nations Cup/オーストラリア)視察

以 上

発行：公益財団法人日本バレーボール協会
電話：03-5786-2100 FAX:03-5786-2109

発行人：事務局長 林 孝彦
E-mail：generalaffairs@jva.or.jp